

重症化リスク因子等を有する患者さんには軽症よりベクルリーを投与いただけるようになりました。

2022年3月、ベクルリー（一般名：レムデシビル）が重症化リスク因子等¹⁾を有する軽症¹⁾のSARS-CoV-2感染症患者にも投与ができるようになりました。



以下の患者にベクルリーの処方が検討できます

(詳細に関しましては電子添文をご参照ください)。



これまで(2021年11月改訂電子添文)と同じく投与できる患者

SARS-CoV-2による肺炎を有する患者。

目安として、5日目まで投与し、症状の改善が認められない場合には10日目まで投与する。

2022年3月改訂電子添文から投与できるようになった患者

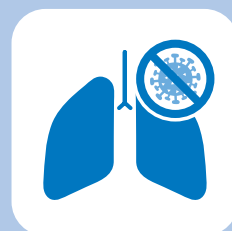
酸素投与を要しない患者であって、SARS-CoV-2による感染症の重症化リスク因子を有する等、本剤の投与が必要と考えられる患者。

症状が発現してから速やかに投与を開始し、3日目まで投与する。

以下に該当する場合に軽症¹⁾の患者さんとなります。



呼吸器症状なし
or
咳のみで呼吸困難なし



肺炎所見なし

重症度別のベクルリーの投与方法[†]

軽症

中等症Ⅰ

中等症Ⅱ

重症

重症化リスク因子等を有する感染初期の患者に3日目まで投与する

肺炎を有する患者に目安として5日目まで投与し、症状の改善が認められない場合には10日目まで投与する

肺炎症状の改善が見られない場合：総投与期間10日まで

[†]「用法及び用量」は、電子添文をご参照ください。

COVID-19の重症化リスク因子¹⁾は以下のとおりです。

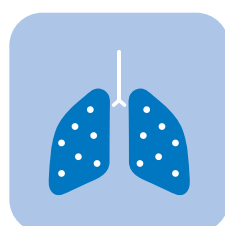


65+

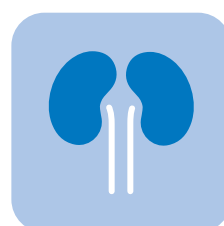
65歳以上



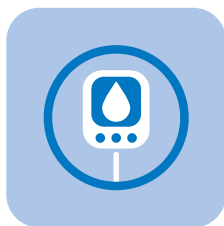
悪性腫瘍



慢性閉塞性肺疾患
(COPD)



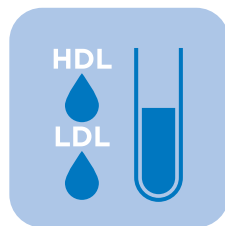
慢性腎臓病



糖尿病



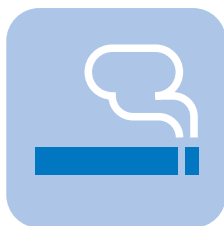
高血圧



脂質異常症



肥満
(BMI 30以上)



喫煙



固形臓器移植後の
免疫不全



妊娠後半期[※]

※9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。妊娠ラット及びウサギを用いた胚・胎児への影響に関する試験で、レムデシビル20mg/kgまでを静脈内投与した場合（主要血中代謝物（ヌクレオシド類似体）の全身曝露量（AUC）が国内承認用量投与時曝露量の4倍に相当）、胚・胎児発生に対する影響は認められなかった。雌ラットを用いた受胎能及び初期胚発生への影響に関する試験において、レムデシビル10mg/kgを静脈内投与した場合（主要血中代謝物（ヌクレオシド類似体）の全身曝露量（AUC）が国内承認用量投与時曝露量の1.3倍に相当）、黄体数・着床床数・生存胚数の減少が認められている。

1. 令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応に関する研究 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第7.0版, 2022年2月28日発行。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_001111.html (2022年3月1日閲覧)。

製造販売元

ギリアド・サイエンシズ株式会社

〒100-6616 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー

<https://www.gilead.co.jp/>

文献請求先及び問い合わせ先

ギリアド・サイエンシズ株式会社

メディカルサポートセンター

フリーダイヤル: 0120-506-295 9:00-17:30(土日祝日及び会社休日を除く)

VKY22DS0098PH

2022年3月作成